

閣議及び閣僚懇談会議事録

開催日時：平成27年5月26日（火） 8：24～8：40

開催場所：総理大臣官邸閣議室

出席者：安倍晋三 内閣総理大臣

麻生太郎 国務大臣（副総理，財務大臣，内閣府特命担当大臣）

高市早苗 国務大臣（総務大臣）

上川陽子 国務大臣（法務大臣）

岸田文雄 国務大臣（外務大臣）

下村博文 国務大臣（文部科学大臣）

塩崎恭久 国務大臣（厚生労働大臣）

林 芳正 国務大臣（農林水産大臣）

宮沢洋一 国務大臣（経済産業大臣，内閣府特命担当大臣）

太田昭宏 国務大臣（国土交通大臣）

望月義夫 国務大臣（環境大臣，内閣府特命担当大臣）

中谷 元 国務大臣（防衛大臣）

菅 義偉 国務大臣（内閣官房長官）

竹下 亘 国務大臣（復興大臣）

山谷えり子 国務大臣（国家公安委員会委員長，内閣府特命担当大臣）

山口 俊一 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

甘利 明 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

有村 治子 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

石破 茂 国務大臣（内閣府特命担当大臣）

陪席者：加藤勝信 内閣官房副長官

世耕弘成 内閣官房副長官

杉田和博 内閣官房副長官

横 畠 裕介 内閣法制局長官

閣議案件：別添案件表のとおり。

○一般案件 4件

○国会提出案件 5件

○公布（法律） 1件

○政令 1件

○人事 4件

いずれも，案件表のとおり，決定，了解となった。

議事内容：

○菅国務大臣：ただ今から、閣議を開催いたします。

まず、閣議案件について、加藤副長官から御説明申し上げます。

○加藤内閣官房副長官：一般案件等について、申し上げます。まず、「テロリスト等に対する資産凍結措置」について、御了解をお願いいたします。本件は、国連安保理決議に従い、外国為替及び外国貿易法に基づいて講じている資産凍結等の措置の対象者のうち、1個人について、同措置の対象から除外するものであります。

次に、信・解任状に認証を仰ぐことについて、御決定をお願いいたします。本件は、「サモア国」及び「チャド国」駐箚特命全権大使の異動に伴い、交付すべき信任状及び解任状であります。

次に、恩赦5件について、御決定をお願いいたします。いずれも復権を行うものであります。

次に、「交通安全白書」について、御決定をお願いいたします。本件は、交通安全対策基本法に基づき、国会に提出するものであります。本件につきましては、後程、有村大臣から御発言があります。

次に、「食料・農業・農村白書」について、御決定をお願いいたします。本件は、食料・農業・農村基本法に基づき、国会に提出するものであります。本件につきましては、後程、農林水産大臣から御発言があります。

次に、質問主意書に対する答弁書3件について、お手元の資料のとおり、御決定をお願いいたします。

次に、法律の公布について、御決定をお願いいたします。「農林水産省設置法の一部を改正する法律」が、22日の参議院本会議において、可決成立したものであります。

次に、政令について、御決定をお願いいたします。「国の所有に係る日本郵政株式会社の株式の処分に関する政令」は、国が所有する同社の株式の売払いについて、あらかじめ公示した価格により随意契約によることができることとするものであります。

次に、人事案件について、申し上げます。まず、麻生財務大臣が7か国財務大臣・中央銀行総裁会議出席等のため27日から30日まで、海外出張されますので、御了解をお願いいたします。

次に、日本ユネスコ国内委員会委員人事といたしまして、国立大学法人大阪教育大学理事中西正人外1名を任命することを承認することについて、御決定をお願いいたします。

次に、裁判官人事といたしまして、退官するものについて、御決定をお願いいたします。

次に、栗原二郎外133名の叙位又は叙勲について、御決定をお願いいたします。

次に、件名外案件について、申し上げます。「円借款の供与に関する書簡」をヨルダンとの間に交換することについて、御決定をお願いいたします。本件は、「財政・公的サービス改革開発政策借款」に240億円を限度とする円借款を供与すること

について、取り極めるものであります。なお、明日の書簡交換まで不公表といたしたいので、御了承をお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、大臣発言がございます。まず、有村大臣。

○有村国務大臣：昭和45年6月に施行された「交通安全対策基本法」に基づき、毎年、政府は、陸上、海上及び航空分野ごとの交通安全に関する施策の現況等を報告する「交通安全白書」を国会に提出しております。

道路交通事故死者数が、昨年、14年連続の減少となった一方で、近年、その減少幅が縮小し、その背景として、「高齢者人口の増加」「シートベルト着用率等の頭打ち」「飲酒運転による交通事故の下げ止まり」等を挙げています。また、「交通ボランティア」など最近の具体的な取組も記載しています。

交通事故を極力減らすため、全力で取り組んでまいりますので、閣僚の皆様には、引き続きの御協力をお願い申し上げます。

○菅国務大臣：次に、農林水産大臣。

○林国務大臣：平成26年度食料・農業・農村白書におきましては、特集として、人口減少社会における農村の活性化について、「田園回帰」の動き等を踏まえ多くの事例を紹介するとともに、3月に決定されました新たな食料・農業・農村基本計画の概要について記述しております。

このほか、食料の安定供給の確保に向けた取組をはじめ、強い農業の創造や農村の振興を図るために進めている取組等について、全国の様々な事例も紹介しつつ、分かりやすく記述しております。

白書の作成に当たり、関係府省に御協力いただいたことに対し、感謝申し上げます。

○菅国務大臣：次に、内閣総理大臣から御発言がございます。

○安倍内閣総理大臣：麻生副総理は海外出張いたしますが、その出張不在中、高市大臣を財務大臣の臨時代理に指定するとともに、金融担当大臣の事務代理を命じます。

○菅国務大臣：これをもちまして、閣議を終了いたします。

引き続き、閣僚懇談会を開催いたします。

まず、有村大臣。

○有村国務大臣：すべての女性が輝く社会の実現に向けた取組の一つとして、現在、女性の「暮らしの質」向上プロジェクトを実施しています。具体的には、有識者にお集まりいただいて検討会を開催し、快適な空間づくりや情報提供といったテーマ別の議論を進め、昨日、提言を取りまとめていただきました。

この提言では、女性の「暮らしの質」向上に関する様々な事項を取り上げていますが、その中でも、トイレは、誰もが毎日利用し、気分転換やコミュニケーションの場でもあるという意味で、女性のみならず老若男女全ての人の「暮らしの質」向上に象徴的な意味を持ちます。また、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催に向けて、日本の「おもてなし」を具現化する場として、世界で最も美しく機能的な日本のトイレの強みを内外に発信します。

全ての閣僚の先生方に、各省庁の所管に係る事項について御相談しました。

トイレに係る取組は、観光地におけるトイレの整備を通じた地方創生、公共交通機関におけるトイレの整備を通じて障害者、外国人、高齢者にも優しいユニバーサル社会を実現すること、国際標準の取得を通じた国際競争力の維持・強化、災害時の避難所等におけるトイレ環境の改善、公衆衛生の改善を通じた途上国支援など、様々な広がりを持っていることを御指摘いただきました。

今後、国民の機運を醸成し、こうした取組をさらに後押ししていく観点から、優れたトイレ空間・活動の表彰を行いたいと考えています。

関係各府省におかれましては、検討会の提言も踏まえ、本プロジェクトに御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

○菅国務大臣：次に、総務大臣。

○高市国務大臣：女性の「暮らしの質」向上プロジェクトについて申し上げます。日本の公共の場において、美しく機能的なトイレの整備を進め、女性があらゆる場面で安全・快適に過ごせる空間をつくっていくために、協力をしてまいります。

総務省として、地方公共団体が整備する公共施設等について、快適なトイレ空間の実現に向けた取組を促進するため、今回取りまとめられたトイレに関する「基本的な考え方」を地方公共団体に情報提供するなど、適切な助言を行ってまいります。

○菅国務大臣：次に、山谷大臣。

○山谷国務大臣：災害時の避難所において、女性が安全に過ごすことができるようにするとともに、高齢者、障害者など配慮が必要な者の健康や衛生環境を守るためにも、避難所の生活環境の一層の改善を図っていくことが重要と考えています。

このため、今回取りまとめられたトイレに関する「基本的な考え方」も踏まえ、避難所を運営する地方公共団体において、更なる取組が促進されるよう、有識者による検討会を開催し、平成25年に作成した避難所に関する取組指針の全般的な見直しや、災害時のトイレのモデルケースの作成等を行ってまいります。

○菅国務大臣：次に、石破大臣。

○石破国務大臣：女性にとって暮らしやすい社会の実現はすべての人にとって暮らしやすい社会の実現であり、女性目線での「暮らしの質」向上を図ることは、地方創生にも寄与するものであります。

暮らしの質向上の一例として掲げられているトイレの使いやすさなどは、女性の働く環境の改善や、観光地や移住先の魅力の向上にも、大いに関係すると考えます。

女性の「暮らしの質」向上プロジェクトは、地方創生の観点からも重要であり、連携をとって優良事例の抽出を踏まえた横展開を図るなど、その推進に積極的に協力して参ります。

○菅国務大臣：ほかに御発言はございますか。

無いようですので、以上をもちまして、閣僚懇談会を終了いたします。

閣 議 案 件

〔平成27年
5月26日〕 (火)

◎一般案件

- 資料あり
資料なし
資料あり
- テロリスト等に対する資産凍結等の措置について
(了解) (外務・財務・経済産業省)
 - ☆サモア国駐箚特命全権大使高田稔久外1名に交付すべき信任状及び前任特命全権大使野川保晶外1名の解任状につき認証を仰ぐことについて
(決定) (外務省)
 - 〃 ☆恩赦について (決定) (内閣官房)

◎国会提出案件

- 資料あり
資料なし
資料あり
- 「平成26年度交通事故の状況及び交通安全施策の現況」及び「平成27年度交通安全施策に関する計画」について (決定) (内閣府本府)
 - 〃 ○「平成26年度食料・農業・農村の動向」及び「平成27年度食料・農業・農村施策」について (決定) (農林水産省)
 - {
 - 1. 衆議院議員鈴木貴子 (民主) 提出ビザなし交流中止に関する質問に対する答弁書について (決定) (外務省)
 - 1. 参議院議員江口克彦 (次代) 提出北方領土、竹島及び尖閣諸島の気象予報の実施に関する再質問に対する答弁書について (決定) (国土交通省)
 - 1. 参議院議員福島みずほ (社民) 提出池子住宅地区及び海軍補助施設において発見された不発弾等に関する質問に対する答弁書について (決定) (防衛省)

◎公布 (法律)

- 資料なし
- ☆農林水産省設置法の一部を改正する法律 (決定)

◎政 令

- 資料あり ○国の所有に係る日本郵政株式会社の株式の処分に
資あ 関する政令（決定）（財務省）

◎人 事

- 資料なし ☆財務大臣麻生太郎の海外出張について（了解）
資料あり ○日本ユネスコ国内委員会委員の任命につき、内閣
資あ の承認を得ることについて（決定）
資料なし ☆判事補兼簡易裁判所判事高櫻慎平を願に依り免ず
ることについて（決定）
資料あり ☆秋田大学名誉教授栗原二郎外 1 3 3 名の叙位又は
資あ 叙勲について（決定）

〔○署名あり ☆署名なし〕

件 名 外 案 件

〔平成27年
5月26日〕（火）

◎一般案件

資料あり ○円借款の供与に関する日本国政府とヨルダン・ハ
シェミット王国政府との間の書簡の交換について
（決定）（外務省）

〔○署名あり ☆署名なし〕